3.**電気鍼治療の理論と実技(パルスとノイロメーター)**

**パルス編**

**【歴史】**・・・1825年フランス人医師、1965年中国で鍼麻酔用として開発

**【種類】**

普及型4回路、8回路・・・現在は平流(交流)が一般的。医学界では平流と呼称。

　　　上級機種6回路・・・・・・1回路ごとの調節・直流平流の切り替え装置(高価)

代表的商品・・・オームパルサー(当セミナーで使用)

パルスジェネレーター、他

波形・・・連続波・断続波(interval)・疎密波(mix)

開発当初の機器との最大の違い・・・直流のみ、針体を傷める波形

**【電気の流れ】**

**【針体の通電部分】**

針体全てに電気は通る→コバルト針(現在販売禁止)は先端数ミリのみ通電する→実験用

**【治効機序】**

1.針そのものを刺入する機械的刺激

2.針刺入のため細胞が破壊され負傷電流が流れる

3.電流刺激

4.水素ガス刺激、水酸化ナトリウム刺激などが細胞の負傷を長引かせての持続的刺激

**【小松の分類】**

筋肉パルス・神経パルス・椎間関節パルス・経絡パルス→正経パルス・奇経パルス

※特殊例・・・内出血時の内圧低減の為の使用法

**【パルス禁忌例】**

1. ペースメーカー使用者
2. 不整脈の患者(強度の場合)
3. 妊婦?

　4.　発熱時